

# 船橋地区防災計画

[平成29年作成]

船橋地区

【船橋地区防災計画作成団体】

船橋地区防災塾参加団体

船橋会	成城消防署
船橋葭根会	成城消防団第三分団
フレール西経堂自治会	千歳船橋商店街振興組合
千歳台廻澤町会	大東学園高等学校
希望ヶ丘団地自治会	船橋小学校
船橋4丁目住宅自治会	希望丘小学校
芦花公園スカイハイツ自治会	千歳台小学校
日赤奉仕団船橋分団	船橋希望中学校
民生委員・児童委員協議会	船橋あんしんすこやかセンター
	砧地域社会福祉協議会

# 目 次

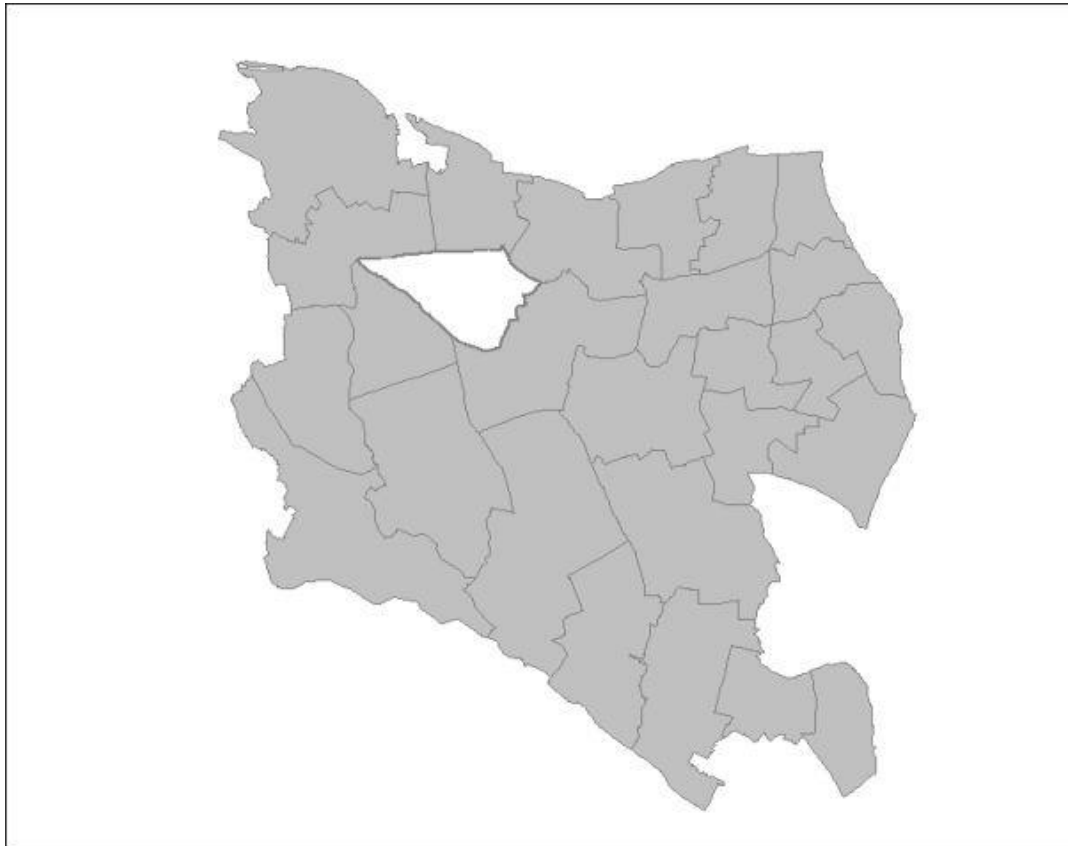
1. 船橋地区の特性	
(1) 自然特性（面積、位置、標高・急傾斜地等）	1
(2) 社会特性（人口、耐火率、土地利用等）	2
(3) 被害想定	4
(4) 防災資源	6
2. 各団体の防災活動～現在の取り組み状況～	
(1) 集計表	7
3. 船橋地区の課題と取り組み	
(1) 要援護者の安否確認	15
(2) 地域連携	16
(3) 初期消火	17
(4) 情報共有	18

# 1. 船橋地区の特性

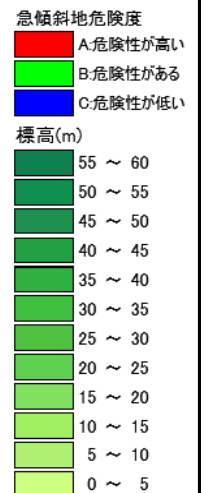
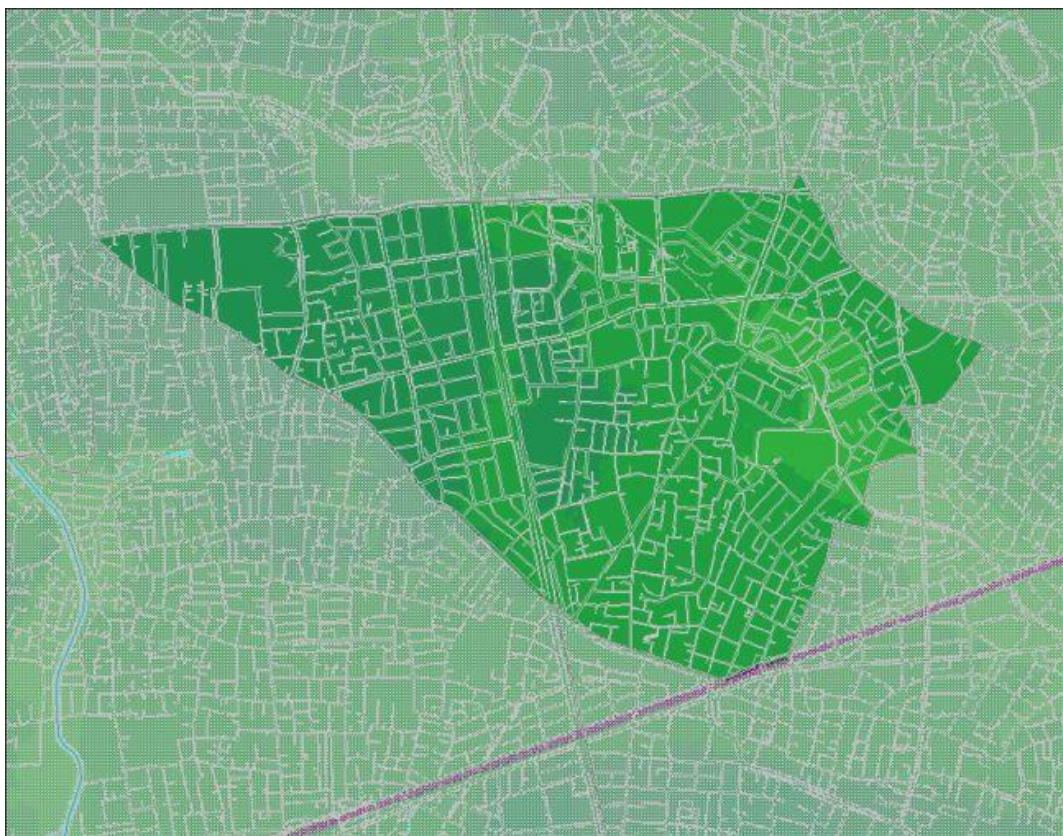
## (1) 自然特性

面積	1.87	Km <sup>2</sup>
----	------	-----------------

### 位置



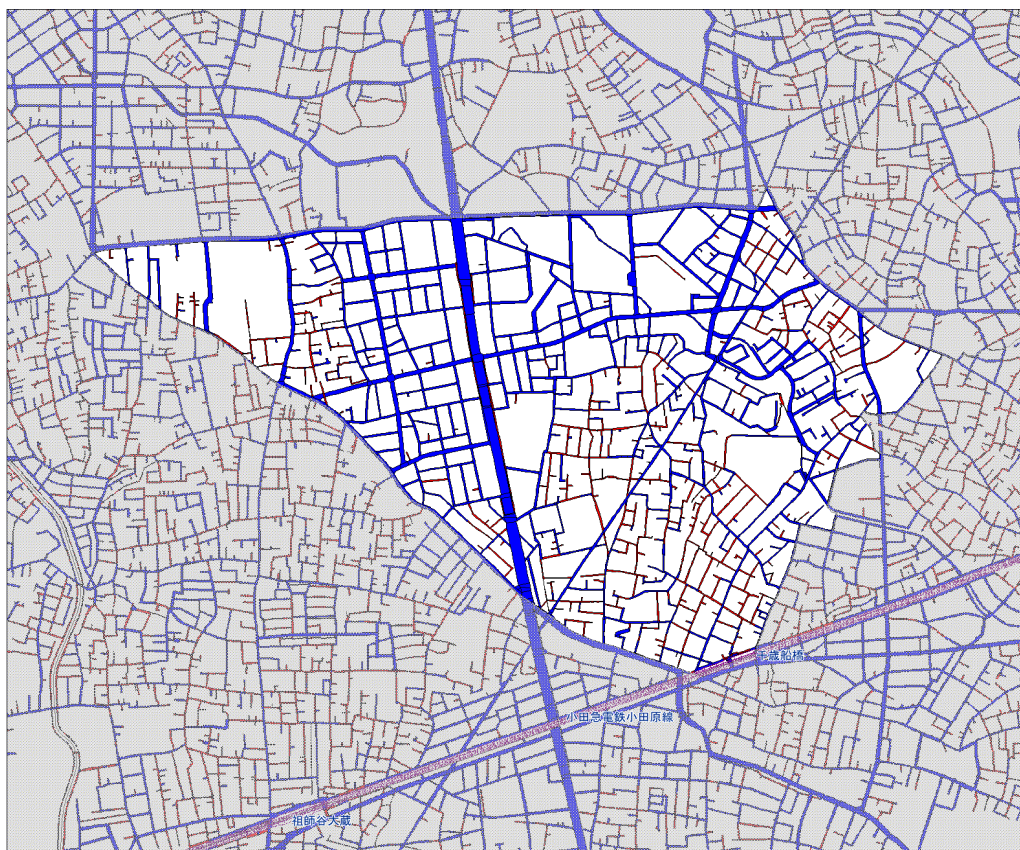
### 標高・急傾斜地



## (2) 社会特性

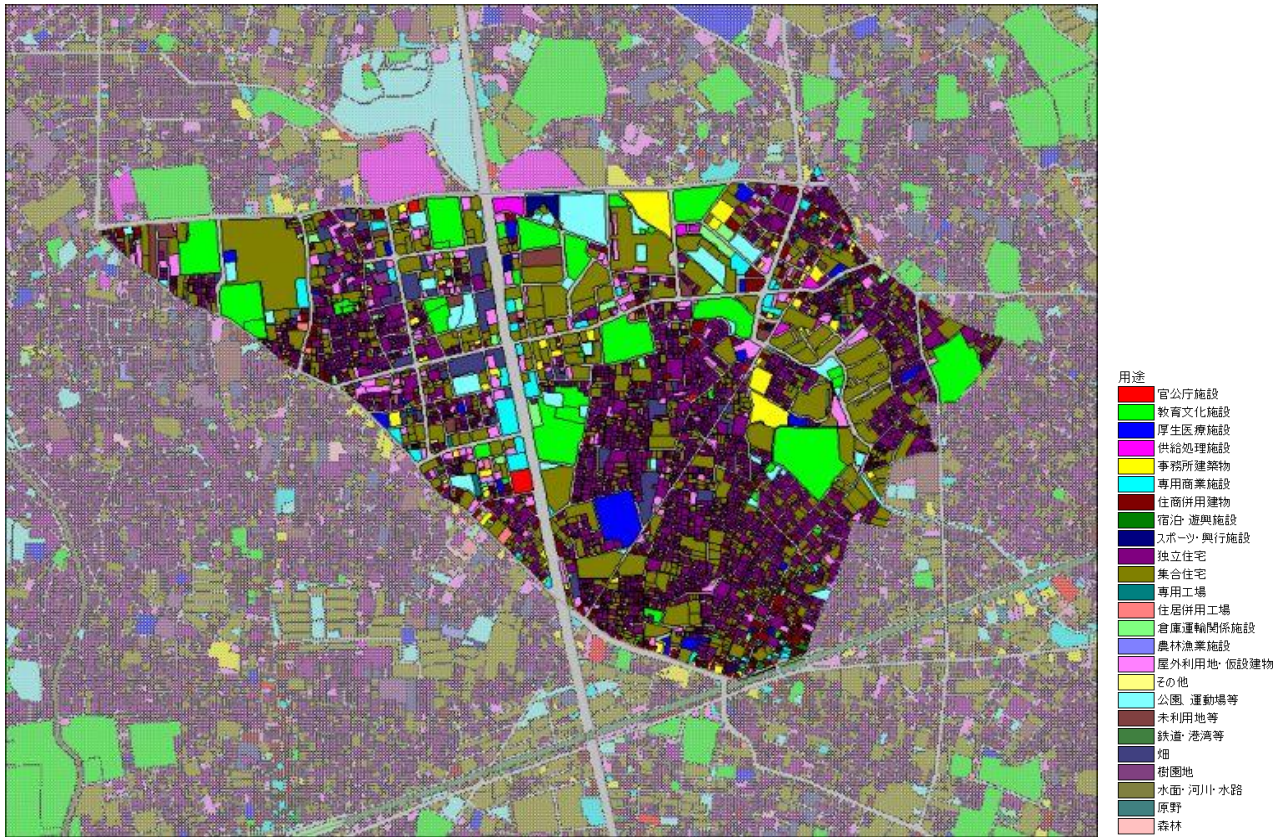
人口	37,345 人	細街路率	31.9 %	
世帯数	17,412 世帯	昭和56年以前木造建物棟数密度	91.8 棟/Km <sup>2</sup>	
1世帯あたり	2.14 人	耐火率	81.2 %	
若年層数(15才未満)	5,873 人	土地利用(宅地)	69.4 %	
若年層率(15才未満)	15.7 %	土地利用(宅地以外)	30.6 %	
高齢者数(65才以上)	6,674 人	鉄道駅	小田急小田原線千歳船橋駅	
高齢者率(65才以上)	17.9 %			
昼間の人口	31,146 人	産業	商業	62.8 %
夜間の人口	35,224 人		工業	14.6 %
昼夜間人口比	0.88 -		農業	22.6 %

### 道路・公共交通機関



## (2) 社会特性

### 産業

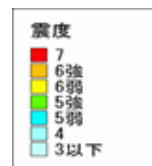
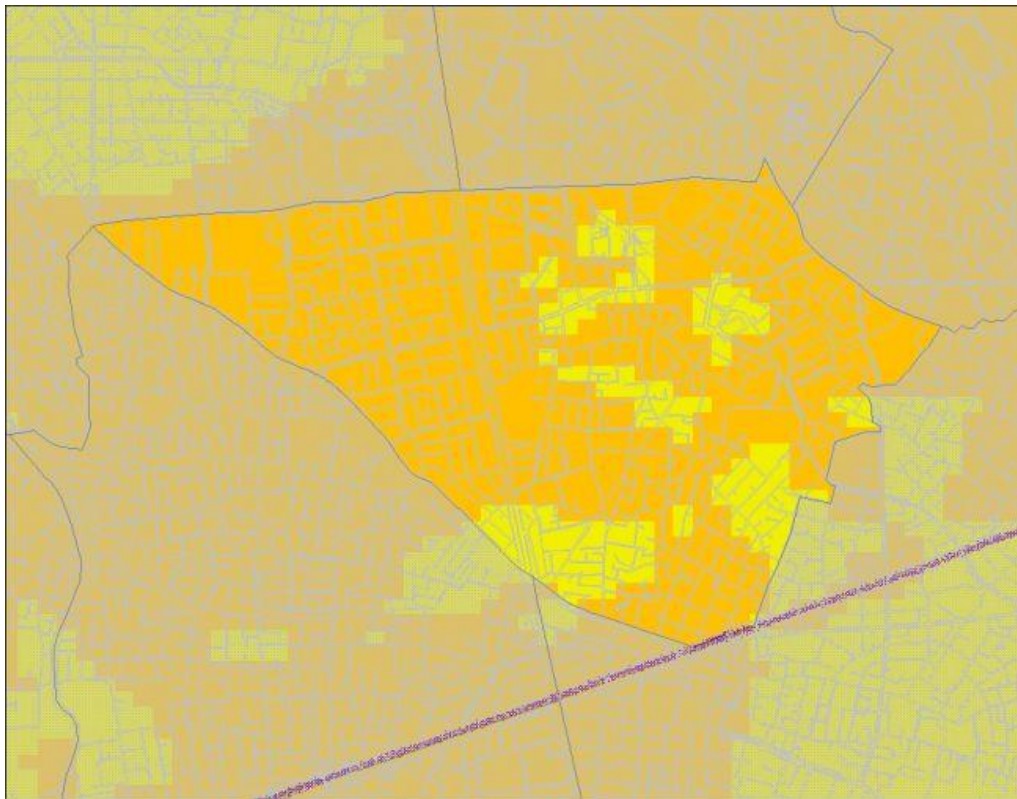


世田谷区の町丁別人口と世帯数 平成27年9月1日現在  
町丁別昼間人口(推計) 平成22年国勢調査 世田谷区 平成25年6月  
平成23年度土地利用現況調査データ 平成24年2月

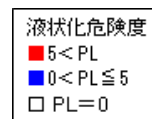
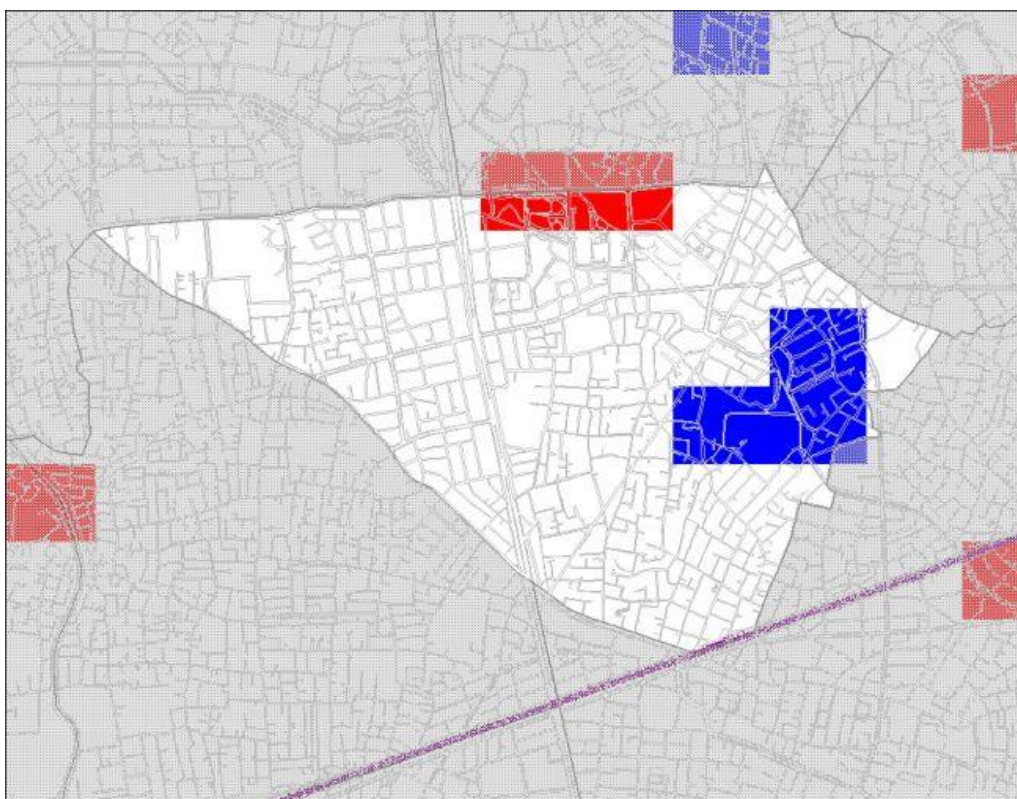
### (3) 被害想定

全壊棟数	105 棟	死者	19 人
半壊棟数	370 棟	負傷者	217 人
全焼棟数(倒壊建物含まず)	846 棟	うち重傷者	40 人

#### 震度分布

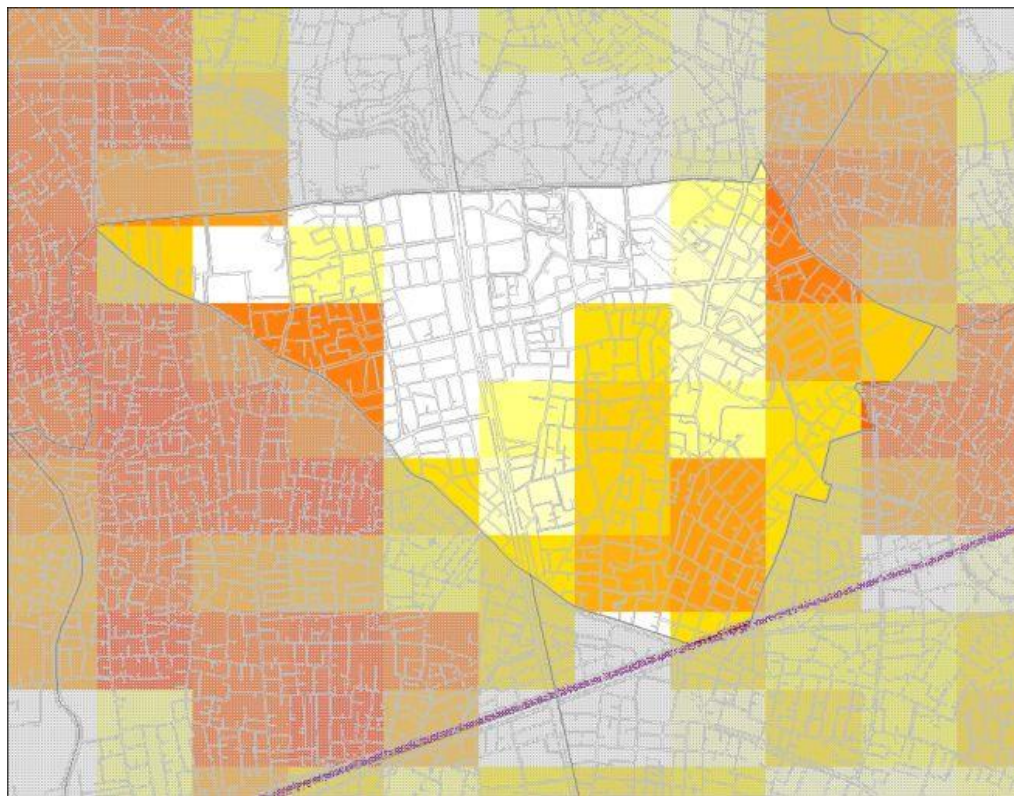


#### 液状化分布



### (3) 被害想定

#### 被害棟数分布



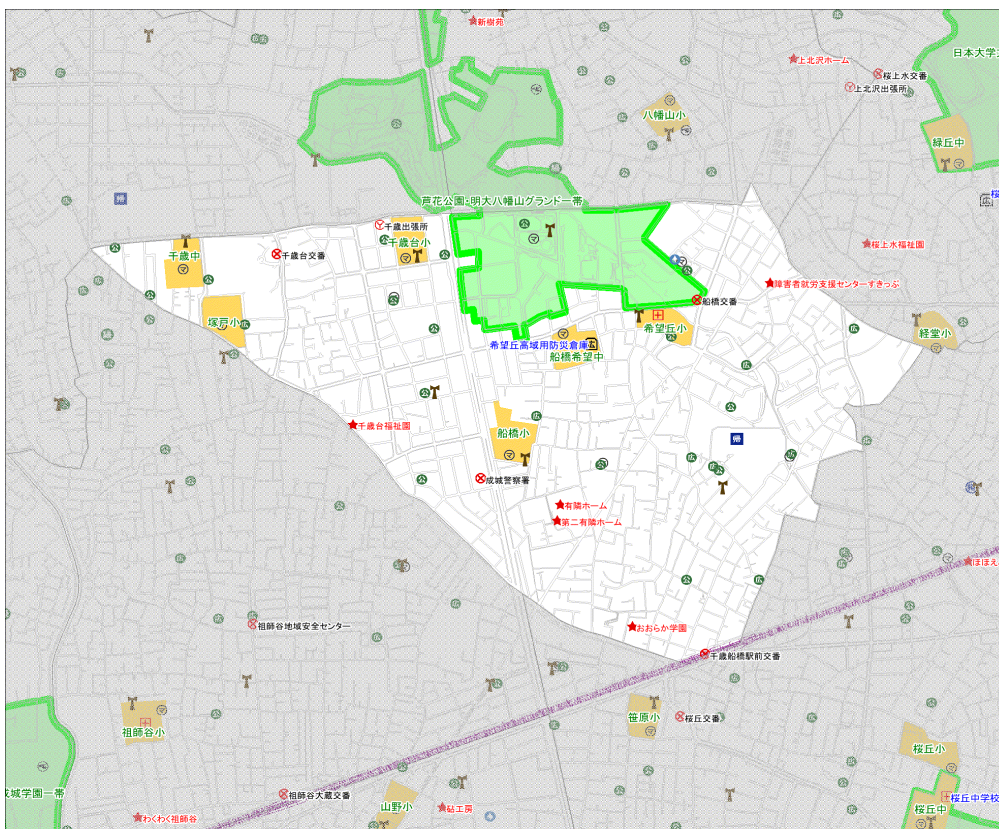
首都直下地震等による東京の被害想定報告書 東京都防災会議 平成24年4月18日公表  
世田谷区防災マップデータ 平成26年5月26日現在  
マンホールトイレ設置場所 平成28年3月31日現在



## (4) 防災資源

広域避難場所	芦花公園・明大八幡山グラウンド一帯				
指定避難所	希望丘小 船橋小 千歳台小 塚戸小 千歳中 船橋希望中				
福祉避難所	千歳台福祉園 第二有隣ホーム 有隣ホーム 障害者就労支援センターすきっぷ おおらか学園				
医療救護所	希望丘小学校				
東京都災害拠点病院					
東京都災害拠点連携病院					
帰宅支援ステーション	都立千歳丘高等学校	帰宅困難者支援施設	ヶ所		
マンホールトイレ	11 ヶ所	防災無線塔	7 ヶ所	緑地	ヶ所
輸送拠点					
給水拠点	よし根公園				
広域用防災倉庫	希望丘高域用防災倉庫				
警察署・交番	成城警察署 千歳台交番 千歳船橋駅前交番 船橋交番				
消防署	千歳出張所				

### 防災資源



- 広域避難場所
- 避難所
- ★ 二次避難所(福祉避難所)
- + 医療救護所
- + 東京都災害拠点病院
- + 東京都災害拠点連携病院
- 帰宅支援ステーション
- 帰宅困難者支援施設
- T マンホールトイレ
- T 防災無線塔
- 緑地
- 公園
- 身近な広場
- T 輸送拠点
- 給水拠点
- 広域用防災倉庫
- 災害時着陸候補地
- 警察署・交番
- 消防署

## 2. 各団体の防災活動～現在の取り組み状況～集計表

団体名	防災担当者数	防災に関する会議		防災活動、資機材配備等の実施		消火資機材の配備									
		実施している	実施していない	会議名	実施回数 (年間)	実施している	実施していない	配備している	配備していない	スタンドパイプ		D型ポンプ		消火器	
										数量	場所	数量	場所	数量	場所
船橋会	19	○				○	○			9	町内各所(各9ヶ所)	1	防災倉庫(町内)		
船橋葭根町会	8	○		避難所運営委員会	2	○	○					1	船橋5丁目ポンプ庫	3	葭根公園防災倉庫
フレール西経堂自治会	6	○				○	○								
千歳台廻沢町会	8	○				○	○					1	廻沢稲荷神社防災倉庫		
希望ヶ丘団地自治会	10	○		希望ヶ丘団地自治会 希望ヶ丘災害対策委員会	2 14	○	○					1	D型ポンプ格納倉庫		
船橋四丁目住宅自治会	5	○				○	○					1	D型ポンプ格納倉庫	10	各号棟1階階段下
コスモ千歳台エクス管理組合防火管理協議会	5	○		理事会	6	○	○							5	各フロア
芦花公園スカイハイツ		○		自治会防災部	3	○	○			1	防災倉庫	1	防災倉庫	20	各階エレベータホール

団体名	その他		防災訓練等の実施								
	名称	場所	実施している	実施していない	防災訓練		救命救急講習会		その他		
					回数	実施場所	回数	実施場所	訓練名称	実施場所	
船橋会			○		2	船橋小学校、船橋地区会館				スタンドパイプ操作訓練 D型可搬ポンプ操作訓練	町内9ヶ所 神明神社
船橋葎根町会			○		1	葎根公園					
フレール西経堂自治会		防災倉庫 防災倉庫	○		2	希望丘小学校		1	第1集会所		
千歳台廻沢町会			○		1	千歳台小学校					
希望ヶ丘団地自治会			○		2	集会所、ピロティ					
船橋四丁目住宅自治会			○		2	船橋希望中学校					
コスモ千歳台エクセラ管理組合防火管理協議会			○		1	マンション内		1	マンション内		
芦花公園スカイハイツ			○		1	敷地内					

団体名	防災マップ											
	掲載情報											
	作成済	作成中	作成検討中	作成予定なし	一時集合所	広域避難場所	避難所	街路消火器	防火水槽	震災用井戸	消火栓	その他
船橋会	○				○	○	○	○	○	○	○	AED、スタンドパイプ、公衆電話、緊急ダイヤル、伝言ダイヤル説明
船橋葦根町会		○			○	○	○	○	○		○	
フレール西経堂自治会			○									
千歳台廻沢町会			○									
希望ヶ丘団地自治会	○				○	○					○	
船橋四丁目住宅自治会				○								
コスモ千歳台エクスセラ管理組合防火管理協議会				○								
芦花公園スカイハイツ			○									

団体名	防災士等の数						災害時連携・協定 (区を除く)		災害時要援護者 協定			
	防災士	把握していない	地域 防災リーダー	把握していない	他団体との連携	協定締結	特になし	連携先・内容	協定先・内容	締結している	検討中である	予定はない
船橋会	1			○			○					○
船橋葭根町会	1		1		○							○
フレール西経堂自治会	4				○			学校、PTA、町会、医師会と宿泊訓練		○		
千歳台廻沢町会		○		○			○					○
希望ヶ丘団地自治会							○			○		
船橋四丁目住宅自治会		○		○			○			○		
コスモ千歳台エッセ管理組合防火管理協議会		○		○			○					○
芦花公園スカイハイツ	2						○					○

団体名	災害時要援護者対策				連絡手段の確保				防災活動に関するマニュアル (避難所運営マニュアルを除く)			
	日頃からの見守り活動	要援護者体験	その他	特に実施していない	簡易無線	連絡網の作成・整備	その他	策定済み	策定中	検討中	予定なし	名称
船橋会				○							○	
船橋葎根町会	○					○				○		
フレール西経堂自治会	○				○	○				○		
千歳台廻沢町会				○							○	
希望ヶ丘団地自治会				○			一時集合所の運営体制作りと安否確認隊他の募集中			○		
船橋四丁目住宅自治会				○							○	
コスモ千歳台エクセラ管理組合防火管理協議会				○							○	
芦花公園スカイハイツ	○									○		

団体名	救出救助に係る資機材の配備														その他	保管場所		
	配備していない	配備している	リアカー	はしご	脚立	担架	救急セット	ヘルメット	救助工具セット	バール	スコップ	手おの	のこぎり	ジャッキ			両ロハンマー	ツルハシ
船橋会	○					1											カセットコンロ、カセットボンベ、乾電池、ローソク	町会防災倉庫
船橋葭根町会	○			2		2		1	1	1	1				1	1		
フレール西経堂自治会	○	1	1		2	2	30			13	1	2	1	1			ナタ2本、ロープ20mを1巻、金テコ1本、カッター1台、折り畳み1丁	防災倉庫
千歳台廻沢町会	○			2	2	4	8	1	2	5	1	2			2	1		廻沢稲荷神社境内防災倉庫
希望ヶ丘団地自治会	○	2		4	2		4		4	11	1	3	1	1	3		まさかり1丁、ヘルメット4個	
船橋四丁目住宅自治会	○			5			15		1	5						1		
コスモ千歳台エクセラ管理組合防火管理協議会	○									2								
芦花公園スカイハイツ	○				1			1										防災倉庫 担架 1階管理人室前

団体名	食糧等の備蓄														保管場所	備蓄品配布先
	備蓄していない	備蓄している	アルファ米	ビスケット・乾パン	おかゆ	飲料水	缶詰類	レトルト食品類	カセットコンロ	その他災害用食料	非常用トイレ	照明	発電機	給水タンク		
船橋会	○		210		120		50	4						白米 100 <sup>kg</sup> ×300	町会防災倉庫	町会管轄避難所
船橋葭根町会	○										2	1			防災倉庫葭根公園	
フレール西経堂自治会	○	1500			1200			5			4	1		マンホール用トイレ4台、簡易トイレ1台	防災倉庫	防災訓練を兼ねた「夕涼み会」
千歳台廻沢町会	○											2			第1集会所物置	
希望ヶ丘団地自治会	○							4			1	1	10			
船橋四丁目住宅自治会	○	250						10							団地内資材倉庫	団地内被災者
コスモ千歳台エクセラ管理組合防火管理協議会	○	49 (五目ごはん)			480										倉庫	各入居者
芦花公園スカイハイツ	○				2800							1		缶詰パン 1800食		



団体名	その他の防災活動
-----	----------

船橋会

船橋葭根町会

フレール西経堂自治会

千歳台廻沢町会

希望ヶ丘団地自治会

1. 集合住宅(1800世)、高齢化は周辺地域の2倍以上を走り、単独世帯が増加する団地では「一時集会所」の従来の概念は崩れている。逆にアウトリーチが必要になるので、「一時集会所」としての運営体制を検討している安否確認隊を重視して、人員を募っている。倉庫の資機材のチェックをし、在庫資機材の意識共有化を計ろうとしている。課題が多いが月1回以上の災害対策7人会議の実行。  
2. 「団地支えあいマップ」作りの第一歩として団地内の特定の一棟をモデルケースとし、11月8日に聞き取り調査を行う。首都直下地震に備え、減災を目指している。

船橋四丁目住宅自治会

コスモ千歳台エクセラ管理組合防火管理協議会

芦花公園スカイハイツ

### 3. 船橋地区の課題と取り組み(課題1)

課題	意見	今後の取り組みの方向性	各団体のこれまでの取り組み	各団体の今後の取り組みの方向性
要 援 護 者 の 安 否 確 認	個人情報問題もあり、要援護者の把握が困難である	要援護者を事前に把握する。	民生委員によるふれあい訪問。(75歳以上の高齢者宅)	船橋会が災害時要援護者支援協定の準備を検討中である。
	要援護者本人の中に、人に知られたくないという人もいる。		区と災害時要援護者支援協定を締結(フレール西経堂自治会・希望ヶ丘団地自治会・船橋4丁目住宅自治会)	各団体が災害時要援護者名簿を更新していく。
	近所とのつながりが薄く、特に体の不自由な高齢者などが孤立してしまう。			
	災害時に全ての家に声をかけてはられない。	安否確認手段(カード、旗など)を導入する。	希望ヶ丘団地自治会配布のマグネット式「安否確認カード」。(UR独自設計で自治会を通して全住民に配布)	他の町会・自治会でも安否確認手段を検討する。
	災害時に玄関などに目立つ物を貼ったらどうか。		民生委員、あんしんすこやかセンター、社協が安心カードを配布し、冷蔵庫に貼っている。	
	災害が起きて時間が経過してしまうと、人々の意識が薄れてしまっている。	防災意識の強化に取り組む。	希望ヶ丘小避難所運営委員研修としてHUGを開催。	船橋小、千歳台小でもHUGを行うよう検討する。
	自分は被害にあわないと思っている。(正常化の偏見)		船橋希望中3年生が普通救命講習を受講(船橋地区区民防災会議による支援)	
	日頃、町の活動に関わらない要援護者の方は、見守りの枠から抜けてしまう。	近所付き合い、繋がりが出るような方法を考える。	地域の安全ボランティア、船橋小、千歳台小、船橋希望中による通学路、校門での挨拶運動。	更に、地域の安全ボランティアが増えるよう募集する。
	1人暮らしの方は外出することが少ない。		船橋なかよし会で高齢者の憩いの場を提供している。(体操、スタッフとの昼食、小物作成など)	
			赤ちゃんカフェ、きらきらサロンで子育てママパパと地域が交流している。	
	高齢者の方も自分の身は自分で守ることが大切である。	要援護者自身が助けられないように、体力づくりをする。	身近なまちづくり協議会による歩こう会の開催。	歩こう会、健康講座により多くの参加が増えるようPR方法を工夫する。
	助けてもらえない事も大切である。		身近なまちづくり協議会による健康講座の開催。	

### 3. 船橋地区の課題と取り組み(課題2)

課題	意見	今後の取り組みの方向性	各団体のこれまでの取り組み	各団体の今後の取り組みの方向性
地域連携	どのように連携すれば良いのかきっかけがつかめない。	普段からのイベントを通して、顔の見える関係を構築する。	船橋ふれあいまつりでは、官公署(消防、警察、清掃事務所、児童館、健康づくり課)、社協、あんすこ、大東学園、世田谷福祉専門学校、JA、小学校PTA等の参加団体がある。	地域のイベントにより多くの参加が増えるようPR方法を工夫する。
	隣の家が何人いて、何をしているのか分からない。		千歳台廻澤町会による花まつりの開催。	
	新しいマンションの居住者を知る機会が少ない。		船橋葺根会によるさくらまつりの開催。	
	ご近所同士の付き合いが少なくなってきた。		船橋会によるあおばまつり・夏の盆踊り・映画会の開催。	
	子どもが小中学校を卒業してしまうと付き合いが少なくなってしまう。		希望ヶ丘団地自治会による希望ヶ丘団地夏祭り・餅つき大会の開催。	
			フレール西経堂自治会による夕涼み会の開催。	
	災害時には、地元で店を構えている商店街との連携が不可欠だ。	商店街との繋がりを持つ。	商店街によるちとふなまつり夏・冬、キャンダルライトフェスタの開催。	商店街のイベントにより多くの参加が増えるようPR方法を工夫する。
	商店街からの物資調達があると大変助かる。		町会自治会、小中高、PTA、商店街等による3.11を忘れないの開催。	
	学校をよく知るPTAとの関係が重要である。	幼稚園・保育園・小中学校・PTAとの関わりを持つ。	千歳台小めばえの会によるめばえまつりの開催。(十おやじの会の炊き出し、焼き芋大会)	船橋希望中では災害時を想定した集団下校訓練を実施しており、将来は地域とも連携して訓練することを検討する。
	中学生との防災訓練が行われていない。		船橋希望丘中オヤジの会によるお父さんのためのスポーツ大会の開催。	
			船橋小PTAによる夏のお泊まり会・ふなっこ夏祭りの開催。	
	医療機関との連携を行うべきだ。	医療機関との連携は欠かせない。	有隣病院と希望ヶ丘団地自治会による防災教室。	有隣病院が船橋小避難所運営訓練に参加予定。
	有隣病院は外来を受け付けているのだろうか。		有隣病院と船橋会による災害時医療提携を締結した。	有隣病院が船橋希望中避難所運営訓練に参加予定。
	高校生にも協力してもらいたい。	高校、世田谷福祉専門学校に協力してもらう。	青少年地区委員会による3高校情報連絡会(千歳丘高、大東学園、恵泉女学園)の開催。	左記の事業が継続できるように検討する。
世田谷唯一の専門学校とも連携したい。	大東学園、世田谷福祉専門学校の参加イベント(ダンス・太鼓) →あおばまつり、ふれあいまつり、ふなきぼDEフェスタ、地域懇談会、防災塾参加			
	身近なまちづくり協議会と千歳丘高校との駅前花植えを開催。			

### 3. 船橋地区の課題と取り組み(課題3)

課 題	意 見	今後の取り組みの方向性	各団体のこれまでの取り組み	各団体の今後の取り組みの方向性
初期消火	船橋地区の特に1・3丁目は密集地域、かつ、道路も狭く火災延焼の恐れがあるため、初期消火体制の構築が必要である。	消火器、スタンドパイプ、D級ポンプ等の場所、取り扱い方法を確認し、周知する。	船橋会によるまちかど防災訓練の開催(スタンドパイプ、D級ポンプ操作訓練)	フレール西経堂自治会は団地設計者を交えての避難経路検討や消火器等の防災訓練を計画している。
	消火器や消火栓の場所を知らない人が多い。		希望ヶ丘団地自治会によるD級ポンプの導入、防災訓練、AED操作訓練。	船橋葺根会は家庭用スプレー式消火器の購入助成を検討している。
	消火器具の使用方法を知らない人が多い。		成城消防署、船橋会による震災消防訓練の開催(千歳丘高プールからのホース延長、遠距離送水、D級ポンプによる一斉放水)	小学生を対象に地域を知る授業の一環として、消火器や消火栓の場所を取り入れることを検討する。
	初期消火に当たる人材が不足している。		千歳台小避難所運営訓練での消防団放水訓練(保護者も参加)	中学生による消防訓練を検討する。
			船橋会作成の防災マップ。(マップを活用してのまち歩きをして、危険箇所を確認)	まちかど図書館に防災マップ等の情報を置く。
			希望ヶ丘団地自治会作成の防災マップ。	希望ヶ丘団地自治会による防災訓練スタンプカードを持っている人の中で、毎回参加した場合にプレゼントを配布することを検討する。
			芦花公園スカイハイツ自治会は、一家に一台消火器を配備するように奨励している。	
			希望ヶ丘団地自治会によるブロック塀の点検作業。	
			芦花公園スカイハイツ自治会によるD級ポンプ操作訓練、防災訓練。	
			船橋葺根会による防災訓練の開催(消火器、スタンドパイプ、D級ポンプ操作)	
			希望ヶ丘団地自治会では防災訓練に参加した人にスタンプカード(参加カード)を配布している。	
	地震で電気配線がめちゃくちゃになっている。	通電火災の周知を行い、感震ブレーカーの設置推奨を行う。	船橋会防災訓練において、船橋まちづくりセンターによる通電火災講習を行った。	通電火災の怖さを周知するため啓発していく。
ひとたび火災が起こると延焼する恐れがある。	芦花公園スカイハイツ自治会は、感震ブレーカーを各戸に設置している。			
ブレーカーを落とす工夫はないのか。				

### 3. 船橋地区の課題と取り組み(課題4)

課 題	意 見	今後の取り組みの方向性	各団体のこれまでの取り組み	各団体の今後の取り組みの方向性
情報共有	大地震は家族みんなが揃っている時に起きるとは限らない。	予め家族間で連絡方法、集合場所を決めておく。	希望丘小PTAによる災害用伝言ダイヤル「171」の体験会を実施。	希望丘小は毎年、災害用伝言ダイヤル「171」を学校の取り組みとして行う予定。
	携帯電話や家の電話が使用できない場合の家族の安否確認をどうしたら良いのか。			家族間の連絡中継点を決めておく訓練を検討する。(遠方の親戚など)
	災害時は混乱するのでデマや噂が飛び交うので、正しい情報を得ることが必要だ。	情報の収集及び集約を分けて考える。	船橋会は役員が町会事務所に集合し、情報収集する。	ハンドマイク・拡声器を持つことを検討する。
	情報は分散してしまうと困ってしまう。		芦花公園スカイハイツは隣の千歳台小へ集合し情報収集する。	避難所を情報基地とする訓練を検討する。(アナログ対応が可能)
	情報収集に必要な物は何が考えられるか。		希望ヶ丘団地自治会の役員は船橋希望中、第2防災組織「7人委員会」が現場で活動し、更に、30人の「サポート隊」として支援する。	区の防災メールを登録するように啓発する。
			船橋4丁目住宅自治会では案内板を設置している。	
	要援護者への情報提供はどうしたら良いのか。	要援護者に配慮する情報提供のあり方を考える。	船橋葎根会は避難所運営訓練において、ハザードマップを用いた。	危険箇所を把握するように町歩きをするなど検討する。
			社協が大東学園と協力し、まち探けんマップを作成した。(飲料水、休める、段差の有無の場所等)	
	災害時に電気がストップした場合の情報提供の仕方はあるのか。	掲示板、回覧板を活用する。	芦花公園スカイハイツは避難経路を貼り出している。	回覧板で伝達ゲームすることを検討する。
	人と人が声かけ、顔合わせ出来る情報提供はあるか。		希望丘小校外委員は地域マップを作成した。	回覧板で本当に伝わるか検証してみる。(会長→役員→部長→組長→会員)